

平成29年2月8日

報道機関 各位

NPO 法人奥入瀬自然観光資源研究会
理事長 河井 大輔

第12回エコツアーリズム大賞「特別賞」受賞について

NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会（通称：おいけん、2014年4月設立）は、奥入瀬溪流を野外博物館（フィールドミュージアム）と見立て、「立ちどまるから、見えてくる」をコンセプトに、自然観光資源の調査や情報発信、エコツアーの催行等に取り組んできました。

この度、環境省およびNPO法人日本エコツアーリズム協会が主催する第12回エコツアーリズム大賞「特別賞」の受賞が決定いたしましたので、下記のとおりお知らせします。2月15日には、授賞式（東京）が開催されますので、取材にご協力下さいますようお願い申し上げます。

当法人は、引き続き、奥入瀬溪流の新しい観光スタイルの確立に向けて、エコツアーリズム推進に努めてまいります。

記

1. 受賞の概要 環境省記者発表資料のとおり（添付資料）
URL: <http://www.env.go.jp/press/103618.html>
2. 授賞式
日時 平成29年2月15日（水） 13:30-15:40
場所 環境省第1会議室（中央合同庁舎5号館22階）
出席者 川村祐一（理事）、玉川えみ那（理事）
3. これまでの主な取組
 - ①調査・研修
 - ・ネイチャーガイド研修会（2014,2015）
 - ・蘚苔類学術調査（2011～）※
 - ・奥入瀬溪流自然観光資源調査（2015～）
 - ②情報発信（出版物）
 - ・奥入瀬溪流コケハンドブック（2014年発行）
 - ・奥入瀬自然誌博物館（2016年発行）

③体験支援

- ・市民対象自然観察会・コケ散歩（2014～）
- ・おいらせ自然学校（2015～） 小・中・高の環境教育支援、大学の研究サポート等
- ・エコツアー（2015～） コケ散歩ライト・ディープ、きのこツアー、シダツアー、冬季ツアー（クリスタルファンタジー）、プライベートツアー、その他旅行代理店等受託ツアー

④その他

- ・日本の貴重なコケの森認定（2013）※
- ・日本蘚苔類学会招致（2014）
- ・コケ観察セット販売（2016、VIXEN 及び地域団体とのコラボ商品）

※印…NPO 法人設立前の任意団体時の活動含む

おいけんホームページ URL:<https://www.oiken.org/>

【お問い合わせ】

NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会

理事 玉川 えみ那

©Mobile : 080-6033-2510

E-mail : info@oiken.org

※ツアー中等不在の場合は折り返しいたします。



報道発表資料

平成29年2月7日 | 自然環境

第12回エコツーリズム大賞の決定について

環境省では、エコツーリズムを実践する地域や事業者の優れた取組を表彰する「エコツーリズム大賞」を平成17年度から実施しています。この度、第12回エコツーリズム大賞に応募のあった51件を対象に、審査委員による審査が行われ、合計11件の受賞が決まりましたのでお知らせします。

また、下記の通り表彰式、受賞団体の取組発表等を行います。

1. エコツーリズム大賞

エコツーリズム大賞は、エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するもので、全国のエコツーリズムに関する活動の質的・量的向上及び情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的とした表彰制度であり、環境省と特定非営利活動法人日本エコツーリズム協会の共催により実施しています。

2. 審査結果

応募総数51件のうち大賞1件、優秀賞2件、特別賞7件、特別継続賞1件
(概要は別紙のとおり。)

【大賞】

谷川岳エコツーリズム推進協議会

【優秀賞】

ゆっくりずむ北海道
鳥羽市エコツーリズム推進協議会

【特別賞】

NPO法人 奥入瀬自然観光資源研究会
カシオペア連邦局おもてなし課
NPO法人 片品・山と森の学校
あてま森と水辺の教室ポポラ
室戸市観光ガイドの会
やったらうde高島
屋久島ネイチャー企画FIELD

【特別継続賞】

飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会

3. 表彰式等について

表彰式はエコツーリズム推進全体構想の認定書授与式と同時に行います。

(1) 日時

平成29年2月15日(水) 13時30分～15時40分

(2) 場所

環境省第1会議室(中央合同庁舎5号館22階)

(3) プログラム (予定)

13:30～13:40 主催者挨拶
13:40～13:55 エコツアーリズム大賞表彰状授与
13:55～14:00 エコツアーリズム推進全体構想認定書授与
14:00～14:10 記念撮影
14:10～14:15 休憩
14:15～15:10 受賞団体取組発表
15:10～15:15 エコツアーリズム大賞審査委員会委員長
15:15～15:40 全体構想認定地域取組発表

4. 参加申込みについて

表彰式・取組発表は公開で行われます。参加を希望される方は、下記によりメール又はFAXにてお申し込みください。

- ①件名に「第12回エコツアーリズム大賞表彰式参加希望」と明記してください。
- ②氏名、所属、電話番号、電子メールアドレス又はFAX番号を記載してください。
- ③申込受付の期限は、平成29年2月10日(金)(必着)とします。

会場の都合上、定員となり次第締め切らせていただきますのでご了承下さい。

〈問い合わせ・申込先〉

NPO法人 日本エコツアーリズム協会 坪根、山本
E-mail ecojapan@alles.or.jp
TEL 03-5437-3080
FAX 03-5437-3081

添付資料

[別紙 \[PDF 20 KB\]](#)

連絡先
環境省自然環境局国立公園課国立公園利用推進室
代表 03-3581-3351
直通 03-5521-8271
室長 堀内 洋 (内線6641)
室長補佐 中島 治美 (内線6642)
担当 松本 良一 (内線6645)

第12回

エコ ツーリズム 大賞募集

ECOTOURISM AWARD 2016

エコツーリズムとは

自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかたです。

第11回エコツーリズム大賞受賞 富士山登山学校ごうりき

受賞者の言葉

私達が活動する富士山は、山梨・静岡の両県に跨る広大なエリアです。日本人が古くから愛し、崇めた富士山は、青木ヶ原樹海をはじめとする日本有数の自然環境を有しています。豊かな森や、清らかで美しい湖、絶え間なく湧き出る湧水の中で、希少な植物や多くの動物が生息しています。そして「富士講」をはじめとする豊かな歴史文化や富士山の力を求め頂上を目指した日本人の姿や魂もある場所です。マストアーのみであった富士登山においては、先駆者として少人数制にこだわり、安心、安全、快適なエコツアーを開発・継続してきました。今後も更なる安全管理やきめ細かなガイドダンス、専門性の高いツアー体制を継続していくよう、皆様と協力しながら歩んでいきたいと思っております。

受賞のメリット

受賞を機に、地域の方々や関係する組織から多くの興味を持っていただきました。事例や取り組みの過程などをお伝えする機会が増えています。これまで大型観光地であった富士山において、資源の保全と観光振興のバランスの調整に意識を持っていただけの方たちと連携し、富士山エコツーリズムの構築に向けて、多くの共感者と合力ができています。皆様もエコツーリズム大賞の受賞を目指して、応募してみませんか。

個人部門

団体部門

提出期限：平成28年11月25日（金）



主催：Ministry of the Environment

NPO法人日本エコツーリズム協会





エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するもので、全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上及び、情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的としています。

提出期限：平成28年1月25日（金）

提出先及びお問い合わせ先

NPO法人日本エコツーリズム協会 エコツーリズム大賞審査委員会事務局
 〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-24-9 アイケイビル 3F
 TEL：03-5437-3088 FAX：03-5437-3081 e-mail：ecojapan@alles.or.jp



1 応募対象

エコツーリズムに継続的に取り組んでいる事業者、団体、自治体などを対象とします。
 (例：ツアー事業者、宿泊事業者、交通事業者、旅行会社、コンサルタント、協議会、教育機関、学生団体、地方公共団体など)

■事業者等の個人部門

1. エコツアー事業者 2. 企業
 3. NPO 法人 4. その他 ()

■協議会等の団体部門

1. 協議会 2. 地域団体 3. 学校
 4. 自治体 5. その他 ()

2 応募資格

- (1) 経験年数、法人格の有無、種類は問いません。
- (2) 自薦、他薦の別を問いません。(※但し、エコツーリズム特別継続賞は他薦のみ)
- (3) 過去の優秀賞・特別賞受賞者も応募可能です。
- (4) 受賞から5年以上経過している大賞受賞者も応募可能(他薦のみ)。

3 審査基準

- エコツーリズムに関わる取組の実績を有し、その推進に貢献している事業者、団体、自治体などに対し、次の観点から審査を行います。
- (1) 地域の体験又は情報が良質に提供されているか。
 - (2) 地域資源の保全と持続的利用に向けた取組がなされているか。
 - (3) 地域の振興や活性化に貢献しているか。



4 審査方法

次に定める審査基準により、別に設ける「エコツーリズム大賞審査委員会」が、以下の賞について審査を行います。

『エコツーリズム大賞』（環境大臣賞）…総合的に優れた取組に対して1件。

『エコツーリズム優秀賞』（環境大臣賞）…エコツーリズム大賞に準じて総合的に優れている若しくはリーディング的な取組に対して数件。

『エコツーリズム特別賞』（環境大臣賞）…特定分野での革新的・先進的な奨励すべき取組に対して数件。

『エコツーリズム特別継続賞』（環境大臣賞）…エコツーリズム大賞を受賞後5年以上継続して意欲的に活動をしている取組であって、受賞時から更に質的向上が認められる取組に対して数件。

※他薦のみ

5 審査結果の公表及び表彰

審査結果は、環境省及びNPO法人日本エコツーリズム協会のホームページ上で公表します。

表彰状及び、大賞、優秀賞、特別賞受賞者には副賞(大賞10万円、優秀賞5万円、特別賞3万円相当の商品券)を授与します。(副賞については、NPO法人日本エコツーリズム協会から授与) ※大賞受賞者には個別取材を実施し、NPO法人日本エコツーリズム協会HPにて特集ページを作成します。

6 応募方法

(1) 提出書類

応募用紙に所定の事項を記入し、パンフレット、写真などの参考資料を添えてメール送付(エクセル、ワード等)又は郵送、持参により提出してください。

応募用紙(エクセル)は、日本エコツーリズム協会ホームページ(<http://www.ecotourism.gr.jp/index.php/events/award/>)からもダウンロードできます(推奨)。

(2) 取組分野

下記の取組分野のうち、A～Cは必ず記入し応募してください(Dはあてはまる場合のみ記入)。

エコツーリズムの取組分野 (評価対象となる取組項目です。)

A. ガイダンス (解説) の手法 地域の体験又は情報が良質に提供されているか	必須 <ul style="list-style-type: none"> ・エンターティメント(楽しさ)やホスピタリティ(おもてなし)の工夫 ・地域の自然や文化歴史を正しく理解し、利用者に分かりやすく提供 ・エコツアーにおける安全管理手法の確立 など
B. 環境保全の取組 地域資源の保全と持続的利用に向けた取組がなされているか	必須 <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全のためのルールの作成、調査研究活動及び持続的なモニタリングの実施、順応的な管理の実践 ・環境保全への収益還元システムの確立 ・自然再生のための体験活動など自然生態系の保全を重視したエコツアーの実施 ・環境に配慮した宿泊施設や交通機関の運営(環境負荷の軽減) など
C. 地域活性化の取組 地域の振興や活性化に貢献しているか	必須 <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業等の地場産業体験や地産地消などの取組と連携したエコツアーの実践 ・地域への収益還元や地元雇用など地域振興に結びつける仕組みづくり ・地域が主体となる仕組みづくりや、地域の自信や誇りづくり など
D. その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・エコツーリズムの担い手育成(地域のエコツーリズムの定着・理解促進を先導) ・教育機関等との連携(子どもグループも対象) ・エコツーリズム発展のための推進団体の設立・運営(持続的かつ計画性をもった取組) ・外国人旅行者の受入体制づくり(インバウンド対策) など

※エコツーリズムの取組分野の事例については、「エコツーリズム基本方針」も参考にして下さい。
 (参考) 環境省 HP http://www.env.go.jp/nature/ecotourism/basic_policy.html